資料３

# 令和９年度宮城県地域公共交通計画別紙の一部変更について

## １　国庫補助額変更額

**令和８年６月25日認定額（令和８年度第１回活性化協議会）**

| | 地域間幹線系統 | | 車両減価償却費 | | 計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ミヤコーバス | 56,379 | 千円 | 42,987 | 千円 | 99,366 | 千円 |
| 宮城交通 | 5,293 | 千円 | 3,201 | 千円 | 8,494 | 千円 |
| 計 | 61,672 | 千円 | 46,188 | 千円 | 107,860 | 千円 |

**今回認定（予定）額**

| | 地域間幹線系統 | | 車両減価償却費 | | 計 | | 増減額（幹線） | | 増減額（車両） | | 計 | | 変動率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ミヤコーバス | 56,885 | 千円 | 42,987 | 千円 | 99,872 | 千円 | 506 | 千円 | 0 | 千円 | 506 | 千円 | 100.5% |
| 宮城交通 | 5,293 | 千円 | 3,201 | 千円 | 8,494 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 100.0% |
| 計 | 62,178 | 千円 | 46,188 | 千円 | 108,366 | 千円 | 506 | 千円 | 0 | 千円 | 506 | 千円 | |

主要な変更箇所については別紙資料のとおり。

## ２　変更内容

**ミヤコーバス**

（１）「川崎線」の名称を「大河原村田線」に変更するもの。

（２）「大河原村田線」について、令和８年10月１日から平日運行回数のうち0.5回（1便）をみやぎ県南中核病院経由に変更し、併せて土日祝日の運行回数を0.5回増やすため、計画実車走行キロが増加し、計画額が増額となるもの。

| 主な修正箇所 | 修正後 | 修正前 |
|---|---|---|
| 補助額 | 3,022千円（506千円増） | 2,516千円 |

別紙1-1　地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性等（運行費）

| | 系統名 | 目的 | 必要性 | 定量的な目標 | 効果 | 目標達成のために行う事業 | その実施主体 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 白石遠刈田 | 蔵王高校をはじめとした通学利用と遠刈田温泉、蔵王山への観光客輸送 | 代替の公共交通が存在しない地域である | 収支率又は輸送人員を前年比で1%増加 | 収支率の改善 | ①中学校統合による通学利用促進のための経路・ダイヤ等の調整 | ㈱ミヤコーバス、蔵王町 |
| | | | | | | ②公共交通マップの作成 | 白石市、蔵王町 |
| | | | | | | ③Googleマップを活用した多言語（英、中（繁体・簡体）、韓）情報の発信 | ㈱ミヤコーバス、宮城県 |
| | | | | | | ④インバウンド向け企画乗車券（TOHOKU HIGHWAY BUS TICKET)への掲載 | ㈱ミヤコーバス |
| 2 | 大河原村田 | 村田高校や大河原産業高校などの通学輸送及びみやぎ県南中核病院への通院 | 村田町とJR大河原駅とを結ぶ唯一の交通機関である | 収支率又は輸送人員を前年比で1%増加 | 収支率の改善 | ①運行経路の短縮による運行効率化 | ㈱ミヤコーバス |
| | | | | | | ②Googleマップを活用した多言語（英、中（繁体・簡体）、韓）情報の発信 | ㈱ミヤコーバス、宮城県 |
| 3 | 利府 | 塩竈市内、利府町内の各住宅地を縦貫する幹線系統 | 町内からJR線への接続手段である | 収支率又は輸送人員を前年比で1%増加 | 収支率の改善 | ①高齢者・障がい者等に対するバス助成券の交付 | 利府町 |
| | | | | | | ②公共交通マップの作成 | 利府町 |
| | | | | | | ③Googleマップを活用した多言語（英、中（繁体・簡体）、韓）情報の発信 | ㈱ミヤコーバス、宮城県 |
| 4 | 汐見台団地 | JR多賀城駅から多賀城市・七ヶ浜町の住宅地を結ぶ幹線系統 | JR線に結節し、仙台市内への通勤通学をはじめ住民の足となっている | 収支率又は輸送人員を前年比で1%増加 | 収支率の改善 | ①Googleマップを活用した多言語（英、中（繁体・簡体）、韓）情報の発信 | ㈱ミヤコーバス、宮城県 |
| 5 | 吉岡 | 地下鉄泉中央駅から黒川地区を南北に縦貫する幹線系統 | 沿線市町にとって、必要不可欠な仙台市への通勤通学手段である | 収支率又は輸送人員を前年比で1%増加 | 収支率の改善 | ①「せんだいバスFREE＋」の実施 | ㈱ミヤコーバス、仙台市 |
| | | | | | | ②通学定期助成の実施 | 大和町 |
| | | | | | | ③公共交通マップの作成 | 大和町 |
| | | | | | | ④高齢者及び運転免許自主返納者に対するバス助成券の交付 | 大和町、富谷市 |
| | | | | | | ⑤パークアンドバスライド及びサイクルアンドバスライドの実施 | イオン富谷店、富谷市 |
| | | | | | | ⑥Googleマップを活用した多言語（英、中（繁体・簡体）、韓）情報の発信 | ㈱ミヤコーバス、宮城県 |
| 6 | 色麻 | 大崎市、加美町、色麻町相互間の通学と大崎市民病院へのアクセス | この地域で運行する唯一のバス路線である | 収支率又は輸送人員を前年比で1%増加 | 収支率の改善 | ①通学定期助成の実施 | 加美町 |
| | | | | | | ②運転免許自主返納者に対するバス助成券の交付 | 大崎市、加美町 |
| | | | | | | ③公共交通マップの作成 | 大崎市 |
| | | | | | | ④Googleマップを活用した多言語（英、中（繁体・簡体）、韓）情報の発信 | ㈱ミヤコーバス、宮城県 |
| 7 | 石巻免許センター | 大街道地区及び蛇田新市街地と商業施設・石巻駅を結ぶ幹線系統 | 大街道地区及び蛇田新市街地から石巻市内中心部へのアクセス性向上 | 収支率又は輸送人員を前年比で1%増加 | 収支率の改善 | ①運転免許自主返納者に対するバス助成券の交付 | 石巻市 |
| 8 | 河南 | 旧河南町と石巻市を結ぶ幹線系統 | 河南地区から石巻市内中心部へのアクセス性向上 | | | ②商業施設利用者へのバス助成券交付 | イオンモール㈱、㈱ミヤコーバス |
| 9 | 石巻専修大 | 石巻専修大学の通学輸送と旧市町間を結ぶ幹線輸送 | 石巻駅と旧河北町中心部や石巻専修大学を直接結ぶ唯一のバス路線である | | | ③通学生への定期券購入補助 | 石巻専修大学 |
| 10 | 河北 | 河北地区と商業施設・石巻あゆみ野駅を結ぶ幹線系統 | 河北地区の交通拠点である道の駅「上品の郷」で住民バスと接続している | | | ④公共交通利用促進デーの実施 | 石巻市 |
| 11 | 鮎川 | 牡鹿半島からの通学輸送と牡鹿半島への観光利用 | 石巻市内と牡鹿半島を陸路で結ぶ唯一の交通機関である | | | ⑤Googleマップを活用した多言語（英、中（繁体・簡体）、韓）情報の発信 | ㈱ミヤコーバス、宮城県 |
| 12 | 女川 | 女川町と石巻市を結ぶ幹線系統 | 離島航路や町民バスとの接続など、鉄道にはない機能を有する | 収支率又は輸送人員を前年比で1%増加 | 収支率の改善 | ①運転免許自主返納者に対するバス助成券の交付 | ㈱ミヤコーバス、石巻市 |
| | | | | | | ②公共交通利用促進デーの実施 | 石巻市、女川町 |
| | | | | | | ③Googleマップを活用した多言語（英、中（繁体・簡体）、韓）情報の発信 | ㈱ミヤコーバス、宮城県 |
| 13 | 御崎 | 唐桑半島から気仙沼市内を貫通し、通学や通院など多様な需要に応える幹線 | 代替の公共交通が存在しない地域である | 収支率又は輸送人員を前年比で1%増加 | 収支率の改善 | ①Googleマップへの掲載 | ㈱ミヤコーバス、宮城県 |
| | | | | | | ②宮城オルレを活用した利用促進（デマンド交通との相互補完含む） | ㈱ミヤコーバス、宮城県、気仙沼市 |
| | | | | | | ③Googleマップを活用した多言語（英、中（繁体・簡体）、韓）情報の発信 | ㈱ミヤコーバス、宮城県 |

| | 系統名 | 目的 | 必要性 | 定量的な目標 | 効果 | 目標達成のために行う事業 | その実施主体 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 秋保（川崎） | 仙台市、川崎町を横断する幹線系統 | 鉄道の存在しないバスのみの地域であり、仙台市への通勤、通学の足である | 収支率又は輸送人員を前年比で1%増加 | 収支率の改善 | ①「せんだいバスFREE＋」の実施 | 宮城交通㈱、仙台市 |
| | | | | | | ②仙台MaaS等による「休日一日乗車券」の発売 | 宮城交通㈱、仙台市 |
| | | | | | | ③Googleマップを活用した多言語（英、中（繁体・簡体）、韓）情報の発信 | 宮城交通㈱、宮城県 |

※令和9事業年度においても、鉄道との接続がある系統については、鉄道ダイヤの改正等に応じてダイヤ改正が必要か検討を行う。

※令和9事業年度においても、ICカード決済機器を導入済みの路線については、当該データを活用した利用状況の分析を実施する。

別紙1-2

# 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性等（車両）

株式会社ミヤコーバス

| 申請番号 | 使用路線名 | 目的 | 必要性 | 定量的な目標 | 効果 |
|---|---|---|---|---|---|
| 49 | 吉岡 | 車両のバリアフリー化 | 沿線住民の高齢化及び老朽車両の更新 | 適用除外認定車両を除く全車両の低床化 | 高齢者・車椅子等利用者の利便性向上 |
| 50 | 汐見台団地 | 車両のバリアフリー化 | 沿線住民の高齢化及び老朽車両の更新 | 適用除外認定車両を除く全車両の低床化 | 高齢者・車椅子等利用者の利便性向上 |
| 51 | 河南 | 車両のバリアフリー化 | 沿線住民の高齢化及び老朽車両の更新 | 適用除外認定車両を除く全車両の低床化 | 高齢者・車椅子等利用者の利便性向上 |
| 52 | 石巻専修大学 | 車両のバリアフリー化 | 沿線住民の高齢化及び老朽車両の更新 | 適用除外認定車両を除く全車両の低床化 | 高齢者・車椅子等利用者の利便性向上 |
| 53 | 大河原村田 | 車両のバリアフリー化 | 沿線住民の高齢化及び老朽車両の更新 | 適用除外認定車両を除く全車両の低床化 | 高齢者・車椅子等利用者の利便性向上 |
| 54 | 利府 | 車両のバリアフリー化 | 沿線住民の高齢化及び老朽車両の更新 | 適用除外認定車両を除く全車両の低床化 | 高齢者・車椅子等利用者の利便性向上 |

2　大河原村田線（大河原駅前～沼辺～村田営業所）

| | |
|---|---|
| a.取組内容 | ①運行経路の短縮による運行効率化 |
| b.実施主体 | ㈱ミヤコーバス |
| c.定量的な効果目標 | ①の取組により、輸送効率を改善し、経常費用を年間１％削減する。 |
| d.実施に向けたスケジュール | 令和８年４月　村田～川崎区間の廃止協議<br>令和８年６月　宮城県地域公共交通活性化協議会仙南部会の開催<br>令和８年６月～　沿線市町村と増便等の利便性向上策について協議<br>令和８年１０月　土日便の増便等を実施 |
| e.実施時期 | 令和８年１０月～ |

| | |
|---|---|
| a.取組内容 | ②Google マップを活用した多言語（英、中（繁体・簡体）、韓）情報の発信 |
| b.実施主体 | ㈱ミヤコーバス、宮城県 |
| c.定量的な効果目標 | ②の取組により、輸送人員を年間１％増加させ、年間１％の収入増を図る。 |
| d.実施に向けたスケジュール | 令和８年４月　着手（令和９年３月完了予定） |
| e.実施時期 | 令和９年３月～ |

| | |
|---|---|
| ｆ.系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由 | 当系統は、交通の結節点である、ＪＲ東北本線大河原駅を起終点とし、幹線道路である県道 14 号線沿いに、南北約 13 キロにわたり大河原町、村田町にまたがる路線である。沿線には大河原産業高校、村田高校があり、主としてＪＲ東北本線を利用する遠距離通学の高校生の足として定着している。さらに、沿線には、この地域の中核的な三次医療機関である、みやぎ県南中核病院があり、県内でも高齢化率の高い県南地域においては、通院の足としても重要な系統であることから、引き続き幹線系統として運行するものである。 |

**上記の取組により、令和９年度事業年度の実績収支率をそれぞれ前年度より１ポイント改善させる**
**（参考）令和７年度実績　72.5％**

表1　地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者（地域間幹線系統）　令和9年度

261001変更

| 都道府県（市区町村） | 運行予定者名 | 運行系統名（申請番号） | 確保維持事業に要する国庫補助額（千円） | 特例措置 |
|---|---|---|---|---|
| 宮城県 | 株式会社ミヤコーバス | (1) 白石遠刈田 | 8,006.0 | |
| | 株式会社ミヤコーバス | (2) 大河原村田 | 3,022.0 | |
| | 株式会社ミヤコーバス | (3) 利府 | 7,462.0 | |
| | 株式会社ミヤコーバス | (4) 汐見台団地 | 2,882.5 | |
| | 株式会社ミヤコーバス | (5) 吉岡 | 6,452.5 | |
| | 株式会社ミヤコーバス | (6) 色麻 | 6,792.5 | |
| | 株式会社ミヤコーバス | (7) 石巻免許センター | 8,126.5 | |
| | 株式会社ミヤコーバス | (8) 河南 | 2,515.5 | |
| | 株式会社ミヤコーバス | (9) 石巻専修大 | 2,968.5 | |
| | 株式会社ミヤコーバス | (10) 河北 | 1,121.0 | |
| | 株式会社ミヤコーバス | (11) 鮎川 | 2,224.5 | |
| | 株式会社ミヤコーバス | (12) 女川 | 2,371.5 | |
| | 株式会社ミヤコーバス | (13) 御崎 | 2,940.0 | |
| | | 小計 | 56,885.0 | |
| | 宮城交通株式会社 | (14) 秋保（川崎） | 5,293.0 | |
| | | 小計 | 5,293.0 | |
| 合　　計 | | | 62,178.0 | |

（注）

1. 本表に記載する運行予定系統を示した地図（運行予定系統が熊本地震被災市町村における応急仮設住宅の1キロメートル以内を経由することを図示したものを含む）を添付すること。

2.「特例措置」には、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域間幹線系統に係る特例措置の適用を受ける場合には「1」を、平成29年8月2日改正附則第2条の規定に該当する場合には「2」を、補助金交付要綱別表2　5. ただし書きに該当する場合には「3」を記載する。

3. 補助対象期間の計画と比較し、翌年度及び翌々年度の計画が同じ若しくは曜日の違いによる運行回数以外に変更がない場合については、その旨を記載することで足りるものとする。（ 記載例「令和〇年度、令和〇年度については、令和〇年度事業から　土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略」）

表４　別表１及び別表３の補助事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

| 都道府県名 | 広域行政圏名 | 市町村名 | 指定の理由 |
|---|---|---|---|
| 宮城県 | 仙南広域行政圏 | 大河原町 | 国の出先機関、県の合同庁舎、複数の高等学校、総合病院、文化施設、大規模小売店等があり、行政・経済・文化の集積地であるとともに、交通結節点であることから、広域行政圏の中心市町村に準ずるものとして指定するもの。 |
| | 仙台広域行政圏 | 塩竈市 | 国及び県の出先機関、高等学校、総合病院、文化施設、大規模小売店等があり、行政・経済・文化の集積地であるとともに、交通結節点であることから、広域行政圏の中心市町村に準ずるものとして指定するもの。 |
| | 仙台広域行政圏 | 多賀城市 | 高等学校、総合病院、文化施設、大規模小売店等があり、経済・文化の集積地であるとともに、交通結節点であることから、広域行政圏の中心市町村に準ずるものとして指定するもの。 |

【参考】
各路線の該当状況（要綱別表５または表４）

| | 要綱別表５<br>広域行政圏域の中心市町の一覧表 | 路線名 | 表４<br>県協議会等が「広域行政圏域の中心市町に準ずる生活基盤が整備されていると認めた市町村の一覧 | 路線名 |
|---|---|---|---|---|
| 仙南広域行政圏 | 白石市<br>角田市 | 白石遠刈田線 | 大河原町 | 大河原村田 |
| 仙台広域行政圏 | 仙台市 | 吉岡線、秋保線（川崎） | 塩竈市、多賀城市 | 利府線、汐見台団地 |
| 大崎広域行政圏 | 古川市 | 色麻線 | | |
| 栗原広域行政圏 | 築館町 | | | |
| 登米広域行政圏 | 迫町 | | | |
| 石巻広域行政圏 | 石巻市 | 石巻免許センター線、河南線、石巻専修大学線、河北線、鮎川線、女川線 | | |
| 気仙沼・本吉広域行政圏 | 気仙沼市 | 御崎線 | | |

平成13年3月31日現在の市町村名で記載している